

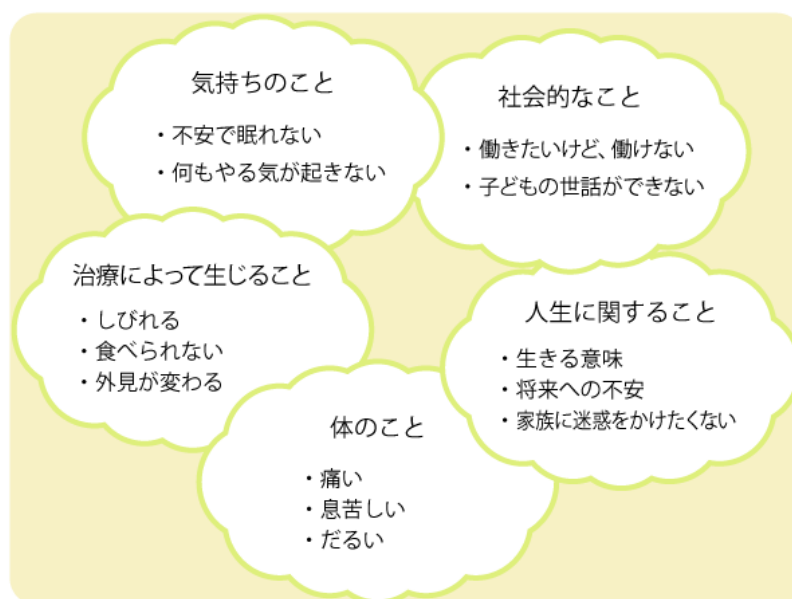
当院は、がんと診断された時から、患者さん・ご家族の治療と療養生活を支える「がんサポートチーム」「緩和ケア外来」「緩和ケア病棟」が、院内にあります。

『緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります』

「緩和ケア」と聞くと、終末期医療を連想される方もいらっしゃると思います。しかし、「緩和ケア」は、がんの治療と並行して行われるもので、がんが進行してから始めるものではありません。

がん患者さんは、治療のことだけでなく、がんによる体の症状(痛み、だるさ、食欲不振など)や、気分の落ち込みや悲しみなど精神的なつらさを体験します。また、仕事のことや、治療費、家族にどのように伝えるか、将来への不安など様々なつらさも経験するといわれています。「緩和ケア」は、がんと診断された時から、がんに伴う心と体のつらさを和らげ、患者さんやそのご家族が、自分らしい生活を過ごせるようにするためのケアです。

図1 がんに伴う心と体のつらさの例



緩和ケア:[国立がん研究センター がん情報サービス 一般の方へ] (ganjoho.jp)より引用



『がんサポートチームについて』

～ 専門職が連携して、患者さんとそのご家族をサポートします ～
(理念)

がんサポートチームは、がんの診断時からすべての治療過程において、患者さん・ご家族の抱える苦痛を理解し、必要に応じて緩和医療・ケアを提供することで、QOL (quality of life: 生活の質)の向上を目指します。

(ケアの対象)

当院に通院・及び入院中(緩和ケア病棟以外)のがんと診断された患者さん・ご家族を対象として対応しています。

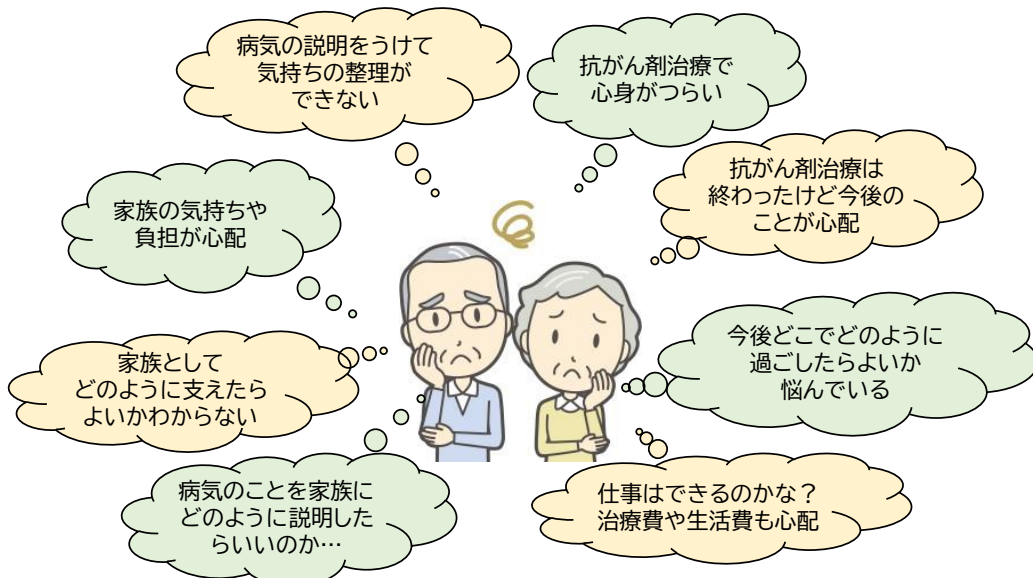
(活動内容)

- ▶患者さんご家族からご依頼を受け介入いたします。
- ▶がんサポートチームは、治療チーム(主治医や担当看護師など医療従事者)と話し合いを行い、患者さん・ご家族のケアの方針を決定します。
- ▶治療チーム(主治医や担当看護師など医療従事者)と合意の上、必要に応じて患者さん・ご家族に直接にケアを行います。
- ▶がんサポートチームメンバーによる回診、カンファレンス(毎週月曜日 15 時～)を実施します。
- ▶緩和ケアの医師や看護師は、必要に応じて回診を実施します。

以下のようなお困りごとに **治療と並行して、診断時から** 対応しております

- からだの症状(痛み、吐き気、倦怠感、食欲不振、便秘、息苦しさ、咳)などをやわらげます。
- 心の症状(不眠、不安、気分の落ち込み、気持ちのつらさ) などにも対応します。
- 今後の治療や過ごし方などを一緒に考えます。
- 入院でも、外来でも、受けることができます。
- 外来・入院における主治医の変更はありませんので、安心して治療を受けられます。

「以下のような方にも、ご相談いただいています」

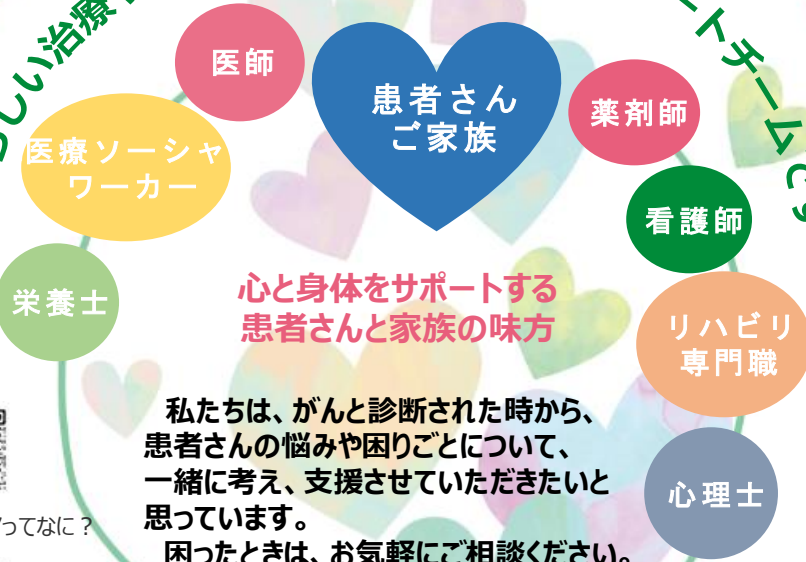


他にも、困ったな、つらいな、と感じることがあったら、どうぞお気軽にご相談ください。

あなたを支える がんサポート チーム (緩和ケア)

市立貝塚病院
緩和ケア推進室

あなたらしい治療や生活のあゆみを応援するサポートチームです



心と身体をサポートする
患者さんと家族の味方

私たちは、がんと診断された時から、
患者さんの悩みや困りごとについて、
一緒に考え、支援させていただきたいと
思っています。
困ったときは、お気軽にご相談ください。

相談のご希望は

主治医や看護師に、「がんサポートチームに相談したい」と
お伝えください。



緩和ケアってなに？



国立がん研究センター
がん情報サービス



マンガ動画「家族ががんにになったら知って
おきたい緩和ケア」



もっと知ってください
緩和ケア.net